

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		小児発達系理学療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302
担 当 教 員		二角 龍之介(7) 太田 珠代(8)	実務経験と その関連資格	二角:小児系医療機関で、理学療法士として勤務。 太田:小児系医療機関で、理学療法士として運動療法等を提供していた。協会活動においてスポーツ分野にも携わる。認定理学療法士(学校教育)を取得。			
《授業科目における学習内容》							
小児の先天性・後天性疾患に対する理学療法、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、実習を交えながら学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験80%、その他20%(課題提出、出席数、授業態度を総合して評価する)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト							
《授業外における学習方法》							
授業で提示した課題に取り組む							
《履修に当たっての留意点》							
教科書、配布資料を忘れずに持参すること、前回の課題をしっかりと取り組むこと							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児理学療法について説明できる		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	小児理学療法の導入、発達について				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の発達を理解する		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	運動発達について				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の発達を理解する		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	原始反射について				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児特有の病態を理解する		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	小児に起こりうる病態を知る				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児遺伝性疾患の概要の理解する		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	小児遺伝性疾患の病態、症状、評価、アプローチ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児整形疾患の概要の理解する	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児整形疾患の症状、評価、アプローチ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児発達系患の概要の理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児発達系疾患の概要		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児発達系患の概要の理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児発達系疾患の概要		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児発達系患の適切な評価、アプローチ方法	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	症状、評価、アプローチを理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例提示より、必要な検査項目を列举できる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児発達系疾患の理学療法の実際		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査測定結果より、重要課題の抽出とその理由が述べられる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児発達系疾患の理学療法の実際		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	課題解決のための資料・文献を収集することができる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児発達系疾患の理学療法の実際		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	集取した文献から治療プログラムを立案できる	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児発達系疾患の理学療法の実際		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	担当症例の自立生活を支援するプレゼンテーションが行える	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	小児発達系疾患の理学療法の実際		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	小児疾患のまとめ	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	まとめ		